

自動車分野向け事業の戦略的拡大

2018年7月19日
旭化成株式会社

本日の発表について

- ◆ 当社は、米国の自動車内装材メーカーであるSage Automotive Interiors, Inc.(以下「Sage(セージ)社」)を買収することを決定し、本日発表しました。
- ◆ 本買収における取得価額は約700百万米ドル*¹です。また、本取得価額にSage社の純有利子負債を加えて算出した買収価格は1,060百万米ドルです。
- ◆ Sage社は自動車内装材に用いる各種繊維製品の開発・製造・販売を手掛けており、シートファブリック*²市場ではグローバルNo.1シェアを保持しています。内装材に関する総合提案力、高いデザイン力、加工技術等により、自動車メーカーおよび部品メーカーに対し高いプレゼンスを有する同社の事業を取り込むことで、当社は自動車分野向け事業の拡大を加速させます。

*¹ クロージング時点での現預金・借入金の残高や運転資金の増減等により変更となります。

*² 天然皮革・合成皮革を除く、織物、編物製のカーシート生地。

本買収の狙いと効果

成長する自動車内装市場でのポジションを強化し、自動車分野向け事業の拡大実現を目指す

- ◆ 自動車メーカーおよび部品メーカーに対するアクセスを強化し、自動車市場の動向やニーズを迅速かつ的確に把握
- ◆ Sage社の有するマーケティング力・デザイン力と、当社の有する繊維製品、樹脂製品、センサ等のさまざまな製品・技術を組み合わせ、車室空間に関する総合的なデザイン、ソリューションを提案・提供
- ◆ Sage社の営業・製造・マーケティング拠点を、当社のグローバル展開にあたっての経営インフラ・リソースとして活用

1. 中期経営計画での位置づけ

2. 本買収の目的

3. Sage社の概要と買収のシナジー

4. 本買収の概要

中期経営計画での位置づけ

「自動車」は現中期経営計画における重点分野の一つ

Cs for Tomorrow 2018

クリーンな環境エネルギー社会

×

健康・快適で安心な長寿社会

重点分野

自動車

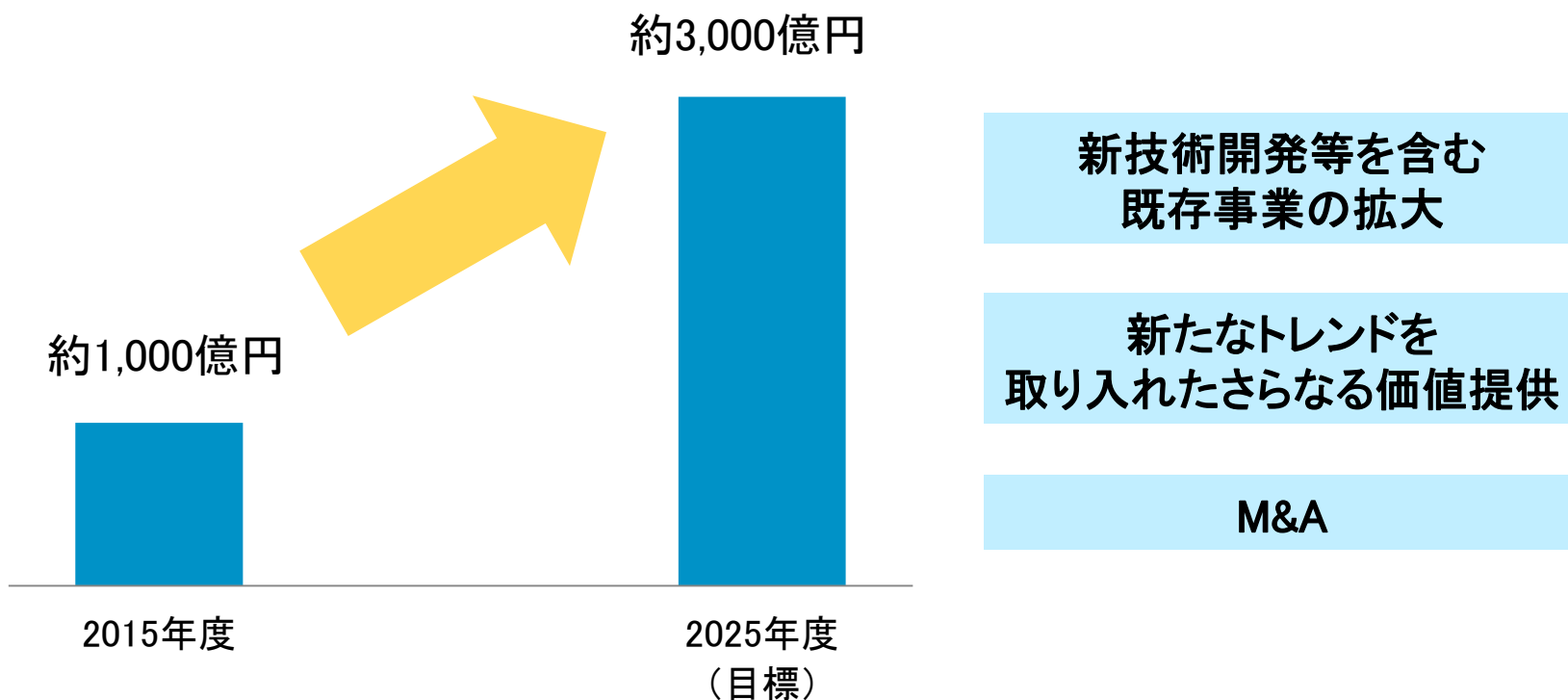
環境・エネルギー

ヘルスケア・
生活衛生関連

2025年度に向けて

自動車分野向け売上高を、2025年度に2015年度の3倍へ

当社の自動車分野向け製品・事業の売上高*



* セパレータ事業の売上高を除く

自動車分野向けの取り組み

グループ横断で強化・拡大に注力

- ・さまざまな製品・技術を活かした、自動車への新しい価値の提供



当社製品・技術を35箇所に搭載したコンセプトカー「AKXY」

- ・自動車メーカー・部品メーカー（Tier1 サプライヤー）との戦略的関係強化
- ・グローバル拠点の確立

1. 中期経営計画での位置づけ

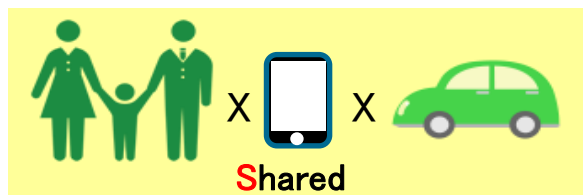
2. 本買収の目的

3. Sage社の概要と買収のシナジー

4. 本買収の概要

自動車産業を取り巻く環境変化

新たなトレンドから新たなニーズ・成長機会が生まれている



- ・パワートレインの変化
 - ・センサ多様化
 - ・軽量化
 - ・電池技術
 - ・インフラ変革・整備
 - ・車の使い方の変貌、多様化
 - ・システム・アプリニーズ
- etc.

素材にも従来と異なる機能・特性が求められており、
多岐にわたる製品・技術を有する当社にとって大きな機会

CASEが車室空間にもたらす変化

中でも車室空間においては、安全・快適性・デザイン性等を重視した新たなニーズが生じている

Connected

- 室内環境のモニタリング
- 乗員の認識・監視

Autonomous

- リビングルーム化、オフィス化
- シートデザイン・レイアウトの多様化

Shared

- 不特定多数での共用
- 利用シーンに応じた仕様

Electric

- 静音化
- 熱マネジメント
- 軽量化

車室空間における変化

- モニタリング技術
- スマートテキスタイル

- 快適性
- デザイン性

- 清掃容易・防汚性
- 防臭・抗菌性
- 機能の高度化・多様化

- 防音、防振、断熱
- 新素材への代替

内装材・部品への新たなニーズ



車室空間のさまざまな変化により、内装材・部品市場は自動車台数の伸び以上の成長が見込まれる

当社の車室空間向け製品・技術

繊維製品、樹脂製品、センサ等による総合ソリューション力で
安全・快適な車室空間の創出に貢献

快適でメンテナンスしやすいシート素材

- スエード調人工皮革「ラムース」
- スパンボンド不織布「エルタス」
- 発泡ポリエチレン「メフ」

安全・快適な空間を
実現する新技術

- CO₂センサ
- アルコールセンサ
- 非接触脈波センシング
- ホール素子



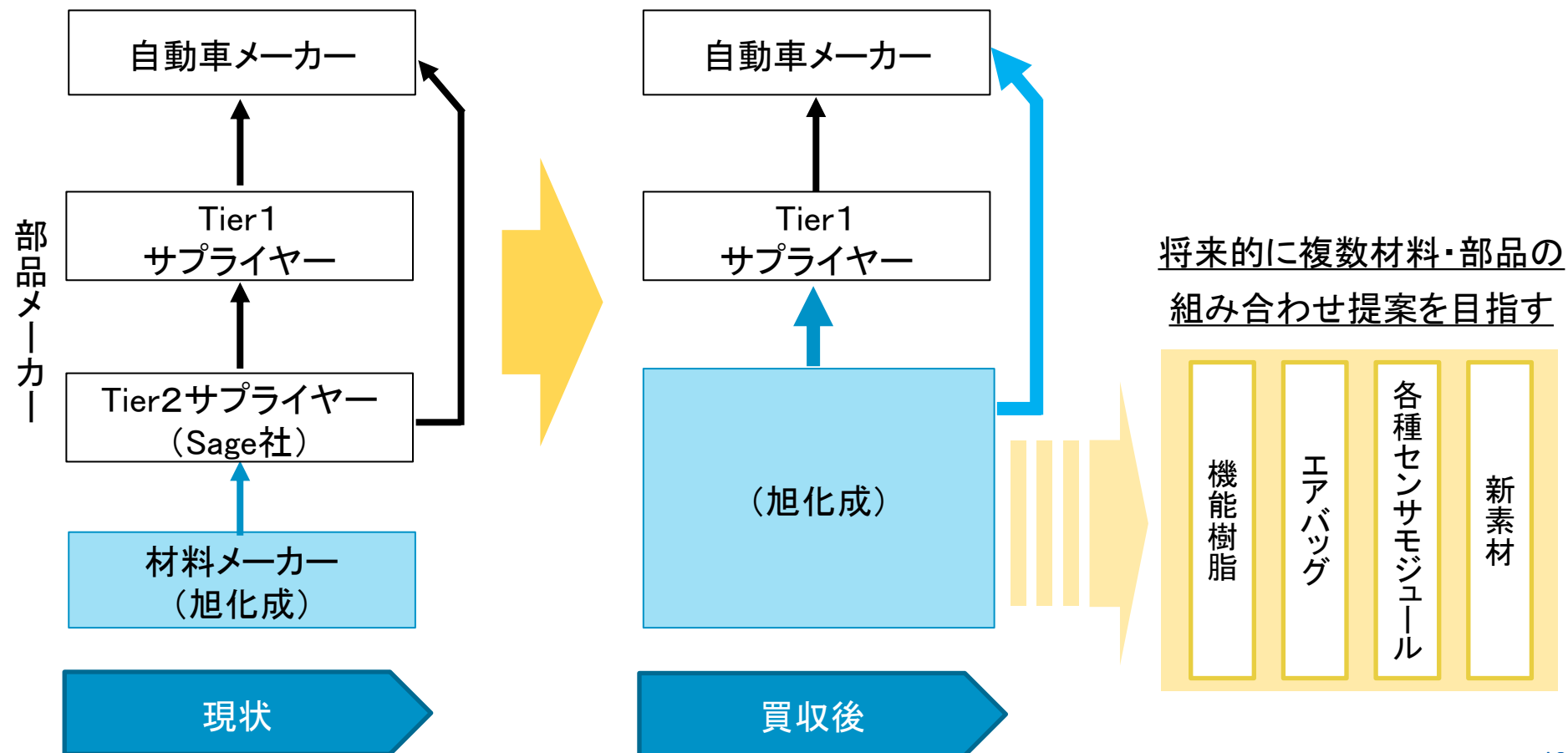
高いデザイン性の高機能樹脂

- ポリアセタール樹脂「テナック」
- ABS系アロイ樹脂「エステロイ」
- アクリル樹脂(PMMA)「デルペット」
- アクリル樹脂シート「デラグラス」

新規開発事業：新素材によるソリューション(CNF等)
オープンイノベーション：CVC機能の強化

「川上」から「川中」へサプライチェーンを拡大

自動車メーカー・部品メーカーとの関係を強化し、車室空間における市場動向やニーズを迅速かつ的確に把握



1. 中期経営計画での位置づけ

2. 本買収の目的

3. Sage社の概要と買収のシナジー

4. 本買収の概要

Sage社概要



| | |
|---------|---|
| 会社名 | Sage Automotive Interiors, Inc. |
| 設立 | 2009年に米国の繊維・化学品メーカーであるMilliken&Companyからスピンオフ |
| 拠点 | 本社：米国サウスカロライナ州グリーンビル市 生産拠点：米国、イタリア、ポーランド、ルーマニア、ブラジル、中国 |
| CEO | Dirk R. Pieper |
| 事業概要 | 自動車内装材に用いる各種繊維製品の開発・製造・販売 (シートファブリック*市場でグローバルNo.1シェア) |
| 売上高 | 2015年度：359.3百万米ドル 2016年度：415.6百万米ドル 2017年度：474.9百万米ドル |
| 従業員数 | 約2,200名(2018年3月31日現在) |
| 当社との関わり | Sage社が当社より「ラムース」を購入(染色などの加工を施した上で部品メーカー・自動車メーカーに供給) |

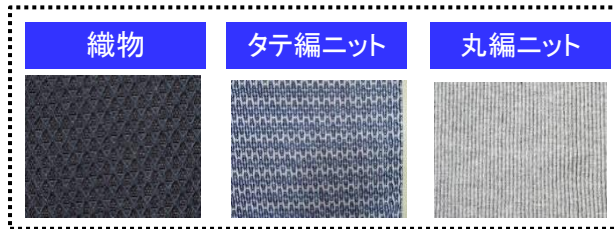
* 天然皮革・合成皮革を除く、織物、編物製のカーシート生地。

Sage社の事業内容

多彩な生産・加工技術を有し、自動車内装材に用いる
各種繊維製品を開発・製造・販売

多彩なファブリック生産技術と 高度な仕上げ加工技術

- 自動車メーカー毎にカスタマイズされるさまざまな機能性とデザインに対応できる生産加工技術と体制



■ 多彩な表面加工技術

パーフォレート

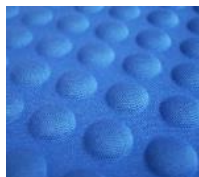
ウェルディング

レーザー

エンボス

スティッチ

プリント



プレミアムファブリック (Echelonブランド)



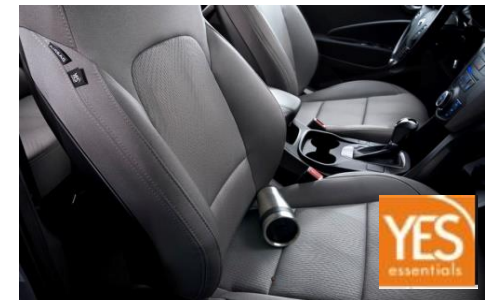
■ Dinamica

エレガントで発色性の高い、ラグジュアリーなスエード調人工皮革
環境と人にやさしい(再利用ポリエステル繊維と水系ポリウレタンを使用)



当社から「ラムース」を販売

製品技術イノベーション



■ Yes Essentials fabrics

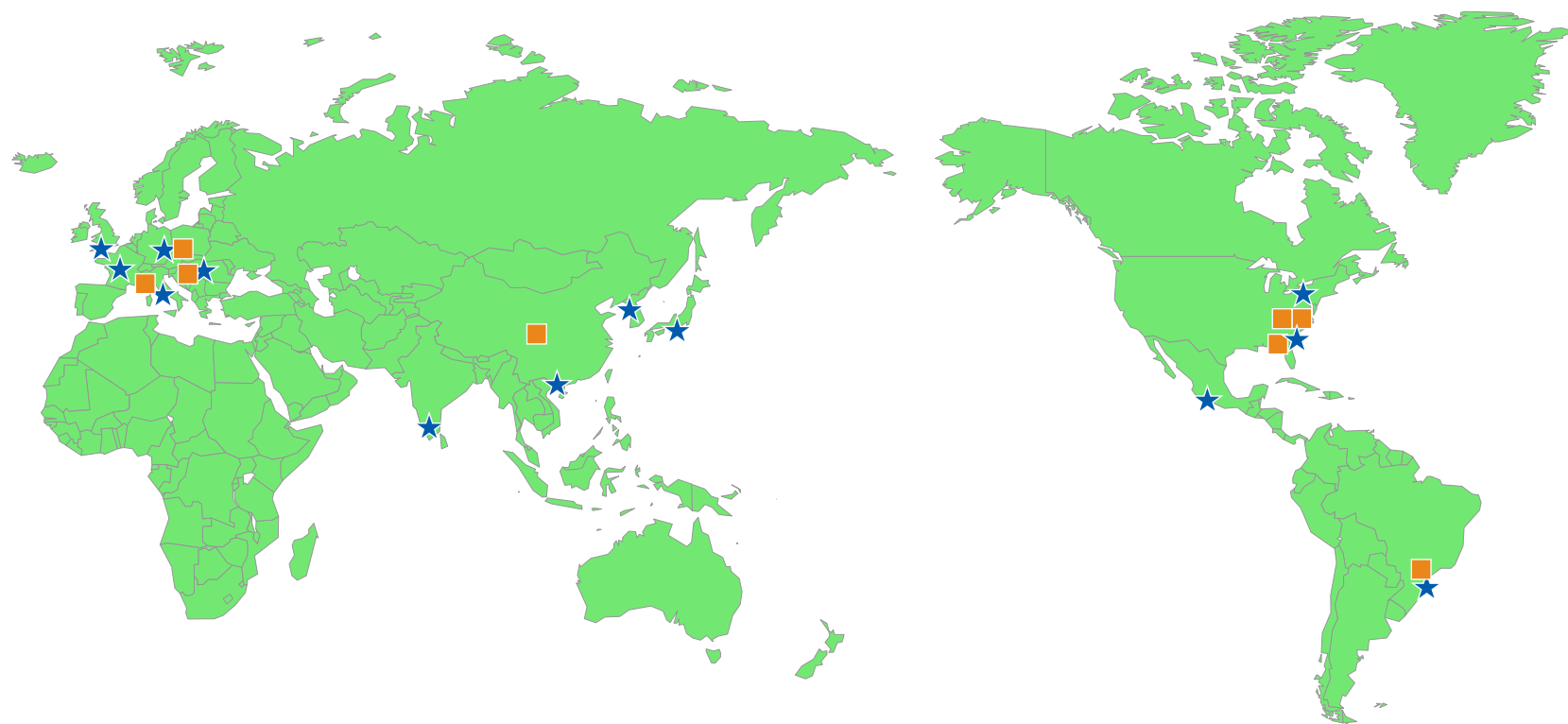
防汚・防水・防臭・制電・防菌の高機能サステナブルファブリック

■ FXC fabrics

耐久・速乾・防菌・防水・防汚性能を持つ高機能ファブリック

Sage社の主な拠点

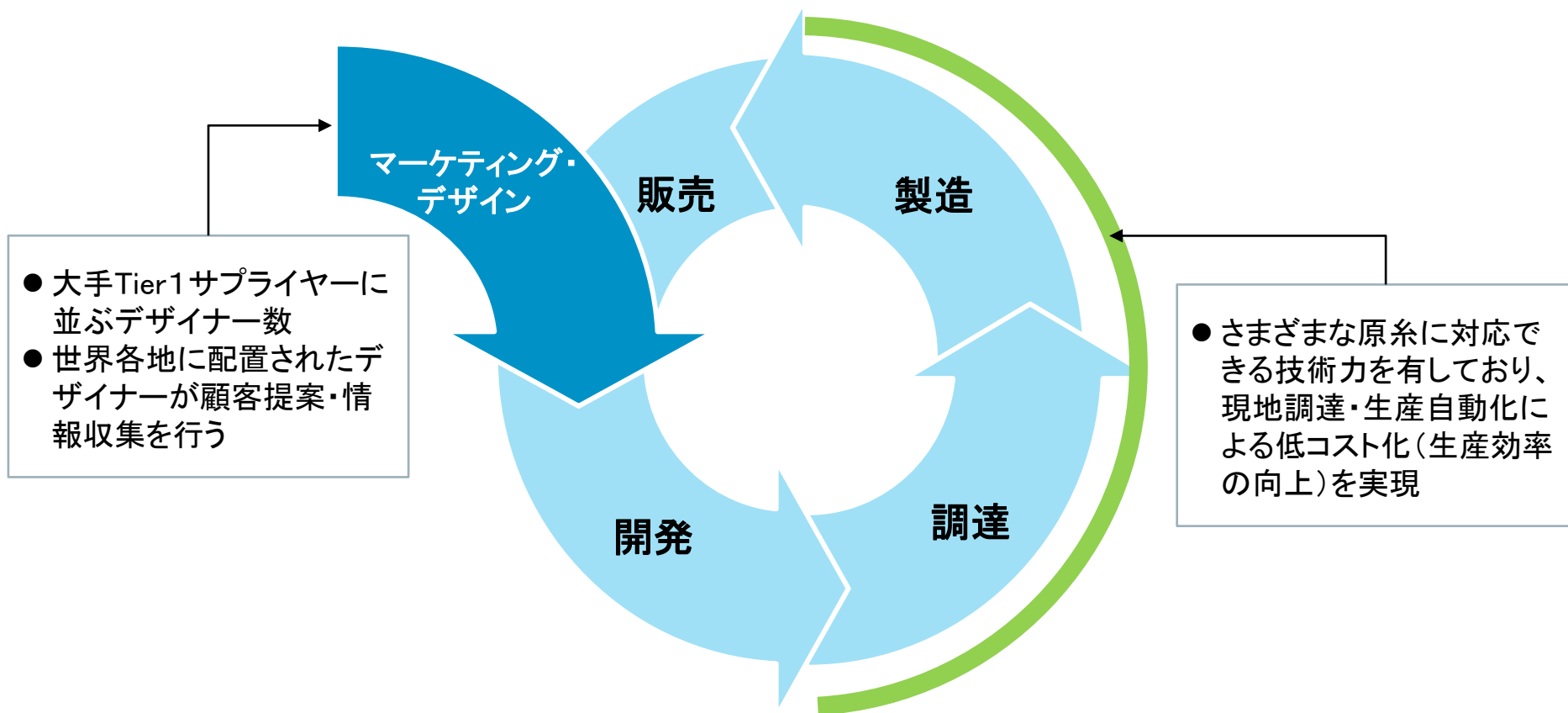
自動車市場における主要地域に営業・製造・マーケティング拠点



拠点：★ Sage社オフィス
■ 工場

Sage社の強み

内装材に関する総合提案力、高いデザイン力、加工技術等により、自動車メーカーおよび部品メーカーに対し高いプレゼンスを有する



買収後のシナジー

短期的には両社の既存事業強化、中長期的には旭化成グループ全体のコネクトにより、自動車分野向け事業の拡大実現

AsahiKASEI

SAGE Automotive Interiors

短期

日系自動車メーカーへの
チャンネル

デザイン提案力

日本・アジアでの事業インフラ

欧米のグローバル生産拠点

- ✓ Sage社拠点を通じた「ラムース」等当社製品の拡販
- ✓ 当社のインフラ・チャンネルを活用したSage社事業の拡大

中長期

幅広い自動車関連製品・技術

自動車メーカーとのアクセス

高い研究開発力

高いマーケティング力・
デザイン力

優れた生産技術

グローバルなプラットフォーム

- ✓ 総合的な車室空間ソリューション提案
- ✓ 次世代カーインテリアの開発

1. 中期経営計画での位置づけ

2. 本買収の目的

3. Sage社の概要と買収のシナジー

4. 本買収の概要

本買収の概要

取得価額

- 約700百万米ドル(約791億円*)
(取得価額にSage社の純有利子負債を加えて算出した買収価格は1,060百万米ドル)

※取得価額は、クロージング時点での現預金・借入金の残高や運転資金の増減等により変更となる

資金調達手法

- 当社が保有する手元資金、および新規のブリッジローンにより充当し、その後、最適な財務構成実現に向けた資金調達を検討

財務への影響

- 買収後のB/S(のれんおよび無形固定資産等の詳細)は、確定次第公表予定
- 2017年度末B/S(D/Eレシオ0.23)を前提に試算すると、D/Eレシオは0.3程度となる

買収完了までの必要プロセス

- 各国競争法当局への届出
- 各国競争法当局および監督当局からの認可取得

* 1米ドル=113円換算(7月18日現在)

Creating for Tomorrow

昨日まで世界になかったものを。

私たち旭化成グループの使命。

それは、いつの時代でも世界の人びとが“いのち”を育み、
より豊かな“くらし”を実現できるよう、最善を尽くすこと。

創業以来変わらぬ人類貢献への想いを胸に、
次の時代へ大胆に応えていくために—。

私たちは、“昨日まで世界になかったものを”創造し続けます。

AsahiKASEI

予想・見通しに関する注意事項

当資料に記載されている予想・見通しは、
種々の前提に基づくものであり、
将来の計数数値、施策の実現を確約したり、
保証するものではありません。